

# 第2次江田島市総合計画の策定に向けた 第2回市民ワークショップで出された意見の整理

日時:平成25年9月14日(土)

① 午前9時30分～ 江田島市役所本庁(2階会議室)・・・23人

プログラム	
目安	みなさんへ 各自、名札を付け、テーブルを囲んでください。
9:30 (15分)	<b>はじめに</b> ・あいさつ、開催趣旨 ・第1回ワークショップ(概要)について ・今日のプログラム・進め方の説明
9:45 (30分)	<b>1 江田島市の将来の姿(イメージ)、キーワード「どんな江田島市に」(班ごと)</b> ・はじめるに当たっての説明、自己紹介 ■期待する地域の将来の姿(イメージ)、キーワード→黄色のポストイット ○「・・・な江田島市」として持続・発展 ○「・・・を大切にすること、生かすこと」を強み・特徴とする地域としたい ○キーワードまたはキャッチフレーズは「・・・」など
10:15 (25分)	<b>2 将来の姿の実現に向けた取組の提案・アイデア(班ごと)</b> ■取組のアイデア・意見を出し合おう →緑のポストイット ※主として江田島市全体または複数の地域(旧町)に関わること(第1回の意見を踏まえて) ○福祉、子育て、教育・文化、生活環境、道路交通、観光交流、行事・イベント、産業、地域資源など部門ごとのアイデア ○部門横断的な取組 など
10:40 (25分)	■アイデア・意見をプロジェクトなどとしてまとめよう ○関係の強いもの ○一緒に行った方が効果的・効率的なもの ○プロジェクトなどのネーミング
11:05 (25分)	<b>5 全体会</b> ・班ごとの発表、意見交換 ・まとめ
11:30	あいさつ・終了

作業風景



次頁以降の 記載内容	将来の姿・イメージ キーワード	取組の提案 アイデア
---------------	--------------------	---------------

## 【A班】 <主な意見・アイデアの整理>

### 個性と魅力・元気・つながり大切に！ 「恵み多き島をつくる」定住・誇り

- ・移住者を受け入れる町（人口を増やしたい）
- ・全国の人たちがあこがれる町、住んでみたい町、魅力あふれるまち
- ・江田島市という名をもっと生かして（江田島術科学学校を知らせる動きを起こす）
- ・それぞれの町は素晴らしいが、全体の市としてもっと町の良さを生かす

### 自然・文化の魅力プロジェクト 知ろう・行こう

- ・パノラマ景色が見える島
- ・海と段々畑を見てね
- ・美しい島
- ・江田島市の自然の良さを知らせていく
- ・風景の美しさを生かす
- ・自然・海・島

- ・歴史文化の保存・活用、情報提供・交流
- ・史跡等のネットワークづくり（ルート、パンフ…）
- ・訪れたいくなる全市のマップ（各町の史跡をあらい出し）
- ・場所を魅力的にする
- ・地域（出身）の人物を知る
- ・文化の振興

- ・観光コースをつくる
- ・情報発信の場・拠点
- ・アクセス、道の充実
- ・ボランティアガイドの育成
- ・きれいな町にする

### 産業の元気プロジェクト

- ・農業、漁業、自然・花、文化
- ・海と段々畑を見てね
- ・観光と人づくりの町「恵多島」
- ・一次産業よりスタート
- ・産業の活性化が必要（農漁業は多角化に移行し、雇用・販路を広げる。観光は積極的に広報活動とイベントを発信する）

- ・竹林整備とそれに変わる植樹
- ・休耕田の整備による棚田の再現
- ・農作物、海の恵みのPR
- ・イノシシ対策（駆除・肉処理のプロ育成とシシ肉活用）
- ・里山見守り隊設置による山林整備と保護
- ・釣り堀公園の設置
- ・豊かな食・食文化づくり
- ・高付加価値で収入のある一次産業の確立
- ・道の駅・直販所の開設

### 人と地域のつながり・交流プロジェクト

- ・つながり・交流
- ・道・人つながり
- ・年寄りや若い人との交流
- ・島の中心地を設けるか、各地区に基盤をつくるのかで、観光産業の気天地が決まる。
- ・子供・幼児の教育が必要

- ・住民の意識改革（交流・美しさづくり）
- ・人との交流を促すイベント（しまのね）
- ・各町の代表者を数名ずつ募り、積極的に話し合いの場を持ち、意見を出し合う
- ・今回のワークショップのような取組を進める

### 全体での取組

- ・アクセスの利便性（交流促進、島内バス利用促進の検討）
- ・総合病院の建設
- ・江田島全体のトータルなディレクション、ブランディング
- ・市民・議会・行政が一体で取り組む
- ・民間の取組を横に繋げる（行政がサポート）
- ・住民が「住んで誇れる島」という意識をもてるように変えることが先決

## 【B班】 <主な意見・アイデアの整理>

### 元気なまちづくり、快適で住みやすいまちづくり

- ・特色づくり、日本一づくり
- ・市民もまちも元気なまち

### 家庭と地域が笑顔で子育てできるまち

- ・子育てしやすい町
- ・働く親のサポート

- ・子育てするメリットづくり
- ・税金や医療費、通学費の負担軽減
- ・土曜の子供預かりサポート
- ・アレルギーが軽減されやすい良い環境のアピール
- ・退職した保育士や高齢者による育児サポートと交流の場づくり
- ・塾に代わる教育環境の提供
- ・他市町と差別化した学校教育の展開
- ・近隣他市町から生徒を呼び込める学校教育
- ・大柿高校への特徴付け（資格取得や日本一の〇〇づくり）
- ・イベントなどによる子供預かりサービス
- ・産科・小児科の設置と充実

### 地域コミュニティのしっかりしたまち

- ・町中に人が行き来し、交流のあるまち
- ・健康で医療費のかからないまち
- ・地域コミュニティで健康促進
- ・地域組織に入り込みやすい環境作り

- ・地域コミュニティの育成と強化
- ・高齢者から子供までサポートしあう体制づくり
- ・祭りなどの行事を残す仕組みづくり
- ・リーダー育成（防災連携の要）
- ・民生委員を中心に住民草の根によるコミュニティでの見守り体制
- ・自治会活動の情報を伝わりやすくする工夫
- ・子供をターゲットにした住民間コミュニティのつながりづくり
- ・若い世代が組織に入りやすくするための段階的なつながりづくり

### 利便性の高いまち

- ・交通対策（夜間の船便）
- ・近隣都市のベッドタウン
- ・住む人も来る人も便利な交通アクセス

- ・定期代など都市部での雇用の妨げの解消
- ・能美と江田島での船賃ギャップの解消
- ・フェリーの便をいかに増やすかを考える
- ・切串、三高、中町航路を使いやすく改善（船便の時間帯等）

### 農を活用したまち

- ・空き地の活用
- ・島外からの来訪を増やす

- ・大規模な農業法人・NPO法人の設立への行政支援
- ・養殖事業などの検討
- ・道具・休憩施設付き市民農園の開設による、都市部からの来訪者増加事業（定住への足がかり策）
- ・JAや行政による農地開放のサポート
- ・三高、切串など利便性の高い場所での耕作放棄地の活用

### その他の取組

- ・江田島第一術科学学校を中心とした観光ルートの確立
- ・1日でも泊まってもらえる環境づくり
- ・サイクリング等での見所紹介（マップ等）の充実
- ・新鮮市場やさくらの駐車場、美観の整備
- ・日本初の議員のボランティア化

## 【C班】 <主な意見・アイデアの整理>

### 一体感のあるまち

- ・一体感のあるまちづくり

- ・市で一本化した行事
- ・外へのアピール
- ・合併10周年の記念行事

### 郷土愛に満ちた人を育むまち

- ・若い人が心身共に健康で、郷土愛に満ちた江田島市
- ・子供たちが安心して過ごせ、歴史文化を守る
- ・教育環境の充実した市
- ・子育てしやすい環境
- ・ゆっくりした時間をすごせる島

- ・特色ある教育をする学校を作る（看護学校、小中一貫校）
- ・福祉関係の学校を作る
- ・優秀な先生を呼び入れ、レベルの高い教育環境をつくる
- ・優秀な先生の授業を先生たちも受ける

### 働く場所の豊富な 住み続けられるまち

- ・島に住み続けられる
- ・若者の雇用の場
- ・企業をたくさん誘致し雇用を充実させ、若い人がたくさん住んでくれる江田島市

- ・空き家対策（アパートの家賃を下げる）
- ・若い人たちのやろうとする思い（起業）などをサポートする体制を強化する
- ・ネット販売の普及

### 高齢者の住みやすいまち

- ・高齢者の住みやすいバリアフリーな江田島市
- ・介護や福祉施設を充実させ、若者の雇用を充実するような江田島市

- ・市立の老人ホームの整備
- ・総合病院を1つ建設する

### 自然、資源を生かした人を呼べるまち

- ・海を生かす（海産物、自然）
- ・自然と（観光）資源を生かした、人を呼べる江田島市（笑多島）
- ・自然、歴史的資源を生かしたまち
- ・広島市から行きたくなるような島にしたい
- ・自然を生かしたやさしいまち

- ・島の産物を利用したレストランを2か所位作り、足を運んでもらう取組
- ・道の駅を設置する
- ・史跡や自然ポイントを巡るイベントの開催
- ・求められたコースを廻りポイントで写真を撮るフォトログ
- ・自然・文化のマップ、標識づくり
- ・サンビーチ沖美の活用
- ・竹、雑木の製品化（竹炭、竹細工、木炭、木工）
- ・加工所の連携（味研、コスモス・・・）
- ・全市的なイベントの開催
- ・空き家や遊休公共施設の活用（自治体の強力なてこ入れ）でシェアハウスに活用（定住につなげる）

## 【D班】 <主な意見・アイデアの整理>

### 誰もが住みやすい島づくり

#### ～第1段階 高齢者の交流・Uターン、人材活用、暮らしの応援～

#### 誰もが住みやすい（高齢者、若者）

- ・みんなが安心して暮らせるまち
- ・健康づくりに自主的に取り組める施設・行事の見直し
- ・高齢者にやさしいまちづくり
- ・暮らしやすいまちづくり
- ・高齢者の保養施設をつくる
- ・有名塾講師を招いての島内塾開設

#### お金の落ちる島、観光・交流

- ・自然豊かな江田島市
- ・各町のポイント的な場所をマップにして周遊できるよう
- ・道の駅（郷土料理の提供や直売）
- ・お金を落としてもらい、島が元気になって欲しい
- ・神楽などの文化を大切に
- ・おもてなしの島

#### 大柿高校の魅力づくり、地域づくりへの活用

- ・高校の特徴化
- ・介護科の創設など

#### 雇用創出（重点化、目標）

- ・オリーブを大規模化して産業化し、雇用の創出
- ・カキ殻の利用方法を考え環境改善へ繋げる

### 取組のアイデア

#### 情報発信（広域）

- ・インターネットの活用
- ・ネットが公共施設や港でも見えるように
- ・ネット販売の強化
- ・紙媒体の活用

#### 生活環境（定住）

- ・医療機能、総合病院の充実
- ・U・Iターンの応援
- ・農地を借りやすく、農業をやりやすく
- ・交流場所の確保
- ・相談員の確保
- ・買い物支援
- ・催し物ができる施設づくり
- ・コミュニティ拠点づくり
- ・娯楽の提供

#### 島内での案内の仕組みづくり

- ・島内全体マップ作成
- ・質の高いマップ作成
- ・人が集まるところにマップを置く
- ・かちかど観光案内所づくり
- ・道の駅（市の中心部）

#### 担い手育成（大柿高校）

- ・資格の取れる高校
- ・子供たちの下宿づくり
- ・他市町から生徒を集める
- ・行事ごとの応援
- ・就業の場の確保（農・漁の儲かる産業化）

#### 交流施設づくり 四季のすばらしさ

- ・食事の団体受け入れ
- ・カキ小屋
- ・みやげ物
- ・体験観光（みそ、醤油、豆腐）
- ・高齢者にやさしい休憩場所

#### 担い手育成（Uターン高齢者の活用）

- ・技術や知恵の活用
- ・介護施設や福祉サービス
- ・全国的な介護ビジネスの誘致